

演習問題

線形代数続論演習の授業をとってない人もいるようなので、期末試験前にいくつか演習問題を挙げておきます。これらの演習問題の解答は6月27日(月)に次のページにアップロードします(土日にやってみて、月曜に答え合わせ、という感じで使ってみてください):

<http://www.math.tsukuba.ac.jp/~amano/lec2011-1/ad-linear/index.html>

K を実数全体 \mathbb{R} または複素数全体 \mathbb{C} とする.

演習 0.1 $K[X]$ を K 係数の 1 変数多項式全体のなすベクトル空間とする.

(1) $K[X]$ の 3 つの元 $1+X$, $X-X^3$, $1+X^3$ で生成される部分空間 $\langle 1+X, X-X^3, 1+X^3 \rangle$ の次元を求めよ.

(2) $\langle 1+X, X+X^3, 1+X^3 \rangle$ の次元を求めよ.

演習 0.2 (1) \mathbb{R}^3 の 2 組の基底 $\{e_1, e_2, e_3\}$ および $\{e'_1, e'_2, e'_3\}$ を次のように与える:

$$e_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, e_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, e_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}; e'_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix}, e'_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}, e'_3 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}.$$

このとき、基底 $\{e_1, e_2, e_3\}$ から $\{e'_1, e'_2, e'_3\}$ への基底の変換行列を求めよ.

(2) \mathbb{R}^2 の 2 組の基底 $\{v_1, v_2\}$ と $\{v'_1, v'_2\}$ を次のように与える:

$$v_1 = \begin{pmatrix} \frac{1}{2} \\ \frac{1}{2} \end{pmatrix}, v_2 = \begin{pmatrix} \frac{1}{2} \\ -\frac{1}{2} \end{pmatrix}; v'_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix}, v'_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix}.$$

このとき、基底 $\{v'_1, v'_2\}$ から $\{v_1, v_2\}$ への基底の変換行列を求めよ.

(3) 線形写像 $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^2$ を $f(e_1) = v_1$, $f(e_2) = -v_2$, $f(e_3) = -v_1$ により定義する. このとき、 \mathbb{R}^3 の基底 $\{e_1, e_2, e_3\}$ および \mathbb{R}^2 の基底 $\{v_1, v_2\}$ に関する f の表現行列を求めよ.

(4) 基底 $\{e'_1, e'_2, e'_3\}$ および $\{v'_1, v'_2\}$ に関する f の表現行列を求めよ.

演習 0.3 $K[X]_n$ を n 次以下の多項式全体からなる $K[X]$ の部分空間とする. 線形写像 $f: K[X]_2 \rightarrow K[X]_3$ を

$$f(a+bX+cX^2) = (a+b+c) + (a-b-c)X + 2aX^2 + (3a+b+c)X^3 \quad (a, b, c \in K)$$

により定義する.

(1) $K[X]_2$ の基底 $\{1, X, X^2\}$ および $K[X]_3$ の基底 $\{1, X, X^2, X^3\}$ に関する f の表現行列を求めよ.

(2) $\text{Ker } f$ の基底を 1 組求めよ.

(3) $\text{Im } f$ の基底を 1 組求めよ.

(4) $\text{rank } f + \text{null } f = \dim K[X]_2$ を確かめよ.

演習 0.4 U, V をベクトル空間, $f: U \rightarrow V$ を線形写像とする.

(1) f が単射 $\Leftrightarrow \text{Ker } f = \{0\}$ を示せ.

(2) U, V が有限次元であったとする. $\dim U = m, \dim V = n$ とし, U の基底 $\{u_1, \dots, u_m\}$ および V の基底 $\{v_1, \dots, v_n\}$ に関する f の表現行列を A とする. また, 線形写像 $L_A: K^m \rightarrow K^n$ を $L_A(x) = Ax$ により定める. このとき, $\text{Ker } f$ と $\text{Ker } L_A$ が同型であることを示せ.

(3) 上記で, さらに $\text{Im } f$ と $\text{Im } L_A$ も同型であることを示せ.

演習 0.5 次のエルミート行列 (実対称行列) をユニタリ行列 (直交行列) によって対角化せよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 2 & -1 & -1 \\ -1 & 2 & -1 \\ -1 & -1 & 2 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 2 & 3 & 0 \\ 3 & 2 & 4 \\ 0 & 4 & 2 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} 2 & -\sqrt{-1} & 1 \\ \sqrt{-1} & 2 & -\sqrt{-1} \\ 1 & \sqrt{-1} & 2 \end{pmatrix}$$